

本市では、地域の特色を生かした小中一貫教育を推進しています。各中学校区、義務教育学校での令和6年度の取り組みの一部を紹介します。

小中一貫教育を地域と連携・協働して推進していく組織として、学校参観と協議会を実施しました。また、八向中学校校区の児童・生徒と保護者向けに「家庭でのメディアとの向き合い方・子どもを取り巻くSNS環境について」の研修会を開催しました。

② 児童生徒合同交流活動 ～小中連携、小小連携～

中学生の運動会ボランティアや小中合同あいさつ運動、壮行式での激励メッセージ（動画）交換を行いました。また、小学校間では、陸上練習や校外学習、外国語活動などにおいて交流を行いました。

（４）明倫学園

① 教科での異学年交流

施設一体型の利点を生かし、９年生が１年生のタブレット学習のサポートを行ったり、５年生・６年生と７年生が英語の時間に交流したり、９年生の意見文を７年生が聞き、将来を考える時間を国語の中で行ったりしました。

② 地域学校協働活動と地域交流ホール（明友サロン、通称「メロン」）の活用

大学生サークルによる学習会やイベントを行いました。また、地域の方を講師に招き、「フラワーアレンジメントワークショップ」や「クイズで学ぶ食育」講座を開催しました。学校運営協議会の際にも、地域学校協働活動が日常的なものになるようにワークショップを行い、たくさんのアイデアが出されました。

（５）萩野学園

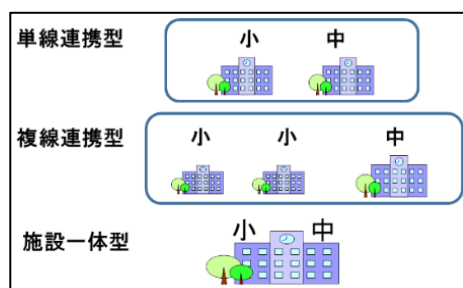
① 異学年交流の充実

９年生が１年生にタブレットの使い方を教えるサポートを行いました。また、４年生の外国語活動の初めの授業で７年生が関わったり、テスト勉強を他学年と行う（シェアタイム）活動等を通して、異学年交流の充実を図りました。日常活動として、縦割り清掃での異学年の関わりが一層充実してきています。

② 学びカフェを通した研修の充実

大学と連携して、研修機能に特化したスペース「学びカフェ」を設置しました。「学びカフェ」では、９年間の学びを充実させるために、外部講師を招いての授業研究会を行ったり、デジタルドリルに関する研修会を行ったりしました。また、学級運営やICTの活用について、教員間で得意分野を生かした自主的な研修を行いました。

各中学校区、義務教育学校では、地域の特色や小中一貫の形態（単線連携型、複線連携型、施設一体型）をうまく利用しながら、教育活動を行っています。また、日常的に地域の方の協力を得ながら行う活動も増えてきました。これからも、地域と一体となって新庄市の小中一貫教育を推進していきます。



新庄市の小中一貫教育について、ご意見等ございましたら下記にお寄せ下さい。

【お問い合わせはこちらへ】

新庄市教育委員会

施設設備等のことなど	・ ・	教育総務課	(直通 23-5004)
小中一貫教育の内容など	・ ・	学校教育課	(直通 23-5003)